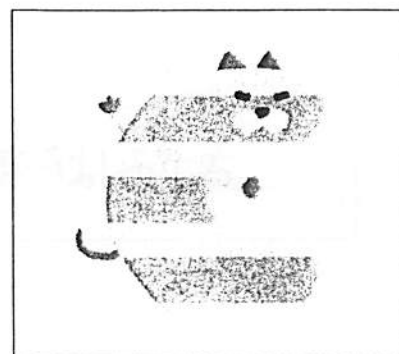
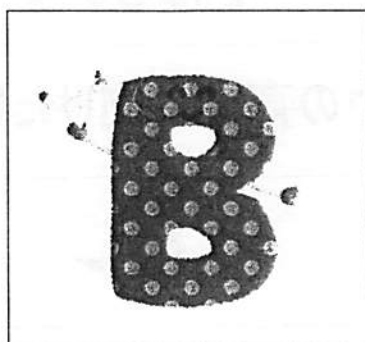
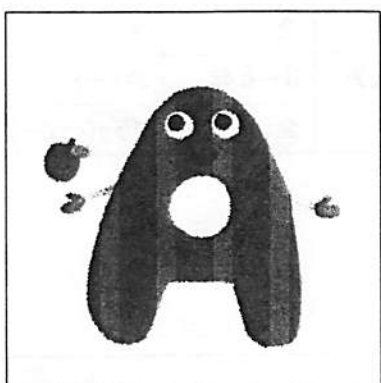


アクティビティ集

～外国語活動・外国語の授業で活用できる～



平成 30 年 8 月
相模原市教育委員会

アクティビティ集 目次

主な活動	ページ	活動名	言語材料	対象学年	準備物
聞く	☆ 1	キーワードゲーム	単語全般	全	×
	☆ 2	ステレオゲーム	単語全般、既習の疑問文とその答え方	全	×
	3	スリーヒントクイズ	I like ~, I can ~, 等	5・6 年	絵カード、ワークシート等
	☆ 4	ポインティングゲーム	単語全般	全	×
話す	☆ 5	ミッシングゲーム	単語全般	全	教師用絵カード
	☆ 6	タイフーン	単語全般	全	×
	7	インタビュービンゴ	単語全般、既習の疑問文とその答え方	3～6 年	絵カード
	☆ 8	ドンじゃんけん	単語全般	全	フラッシュカード

【ねらい】

聞く・話す力の育成に向けた慣れ親しみと定着



さがみはら英語授業スタンダードでの活用場面の例

2

Warm-up

3

Review

5

Practice

L & S Spiral

キーワードゲーム

準備物 絵カード等	言語材料 単語全般	所要時間 10~15分
手順 <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童はペアになり、向かい合って座る。(4~5人のグループでもOK。) 2. 消しゴム等、小さなものを真ん中に置いて、どちらが素早く取れるかを競う。その時は「始めはみんな手を頭の上に置く」等のルールを作っておくとよい。 3. 絵カードの単語を一つのキーワードに選び、児童全員で確認する。児童に質問して返ってきた答えや、授業日にちなんだ単語などをキーワードにするとよい。 【例】指導者 “What fruit do you like? 児童 “Grapes. 指導者 = Oh, you like grapes. Thank you. The keyword is “grapes.” OK? 4. 指導者は、黒板に掲示した単語を手拍子でリズムをとりながらランダムに言い、児童はその単語を続けて繰り返す。但し、キーワードを指導者が言った時は、繰り返さず素早く消しゴムを取る。先に消しゴムを取った人が1ポイントをもらう。 		
HRT の動き <ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。 ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。 	ALT の動き <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動に使う単語を復習する 2. HRTと一緒にジェスチャーを交えてルール説明。 3. 主にゲームを進行する。 	
HRT のみの場合 <p>ペアを作りましょう。 Make pairs.</p> <p>向かい合って座りましょう。 Sit down face to face.</p> <p>右手と左手はこうにしましょう。(教師が例を示しながら。)</p> <p>The right hand is like this, and the left hand is like this.</p> <p>キーワードはこの単語です。 The key word is ~.</p> <p>リピートしましょう。 Repeat after me.</p> <p>キーワードを言ったときはリピートしません。 When I say the key word, do not repeat.</p> <p>では、始めます。 Let's start.</p>		
その他 <p>※キーワードを二つにして一つのキーワードでは「消しゴムを取る」、もう一つでは「握手をする」等、工夫しても良い。※ケガをしないように注意する。</p>		

ステレオゲーム

準備物 なし	言語材料 単語全般 既習の疑問文とその答え方	所要時間 10~15分
-----------	------------------------------	----------------

手順

1. 4~5名の児童が、ほかの児童と対面して教室の前に一列に並ぶ。
2. 全員で一斉に “What color do you like?” “When is your birthday?” などの質問をし、前に並んでいる児童が教師の合図で一斉に質問に英語で答える。
- 3.ほかの児童は前に並んだ児童の誰が何と言ったか聞き取り、手を挙げて答える。
4. 前に並んだ児童の全員が当たるまで質問を繰り返す。

HRT の動き ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。 ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。	ALT の動き 1. 活動に使う単語や表現を復習する。 2. HRTと共にモデルを示してルール説明。 3. 主に活動を進行する。 (児童に質問を与える等。)
---	---

HRT のみの場合

ボランティアしてくれる人はいませんか? Are there any volunteers?

4人必要です。 I need 4 people.

前に来てください。 Please come to the front.

みんなで質問しましょう。 せえの。 Let's ask them! One, two!

難しいですか? Is it difficult?

もう一度聞きたいですか? Do you want to listen one more time?

では、答えを確認しましょう。 Let's listen to the answer.

その他

スリーヒントクイズ

準備物 ホワイトボード、ペン、シール等	言語材料 単語全般、 I like..., I can... 等	所要時間 10~15 分
<p>手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4~5人のグループに分かれる。(個々に活動してもよい。) 2. 教師が3つのヒントを出す。 3. グループで考えさせてホワイトボード等にかかせる。(答えが分かった子どもは手を挙げて答える。) 4. 答えが当たっていたグループはシール(得点)をもらう。 5. 当たらなかったら、もう一度ヒントを繰り返すか、ヒントを増やす。 6. 最終的に正当数の多いグループが優勝。 		
<p>HRT の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。 ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。 	<p>ALT の動き</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動に使う表現を復習する。 2. HRTと一緒にジェスチャーを交えてルール説明。 3. 主にゲームを進行し、出題する。 	
<p>HRT のみの場合</p> <p>4人のグループを作しましょう。Let's make a group of 4.</p> <p>3つのヒントを出すので、グループで考えましょう。</p> <p>I will give you 3 hints, guess the answer in your group.</p> <p>答えを書きましょう。Write your answer.</p> <p>もっとヒントがいりますか？ Do you need more hints?</p> <p>どのグループが正解でしたか？ Which group was right?</p> <p>シールをあげますね。I will give a sticker.</p> <p>最後の問題です。This is the last question.</p> <p>このチームの勝ちです！ The winner is this team!</p> <p>彼らに大きな拍手を！ Give them a big hand!</p>		
<p>その他</p> <p>※動物、食べ物、スポーツ、国や Who am I? と言って教材の登場人物や児童を一人選んだり、校内の他の先生の協力を得て事前インタビューを行ったり写真を借りたりしてクイズに取り入れてもよい。</p>		

ポインティングゲーム

準備物 絵カード等	言語材料 単語全般	所要時間 10~15分
--------------	--------------	----------------

手順

1. 指導者がテキストや絵等から単語を選んで言い、各児童が誌面にあるその文字や絵を指し示す。
2. このゲームは個々のテキストを使ったり、みんなで自分たちの身の回りにある単語を探すようにすることもできる。
また、ペアでどちらが早い競争することも可。

HRT の動き ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。 ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。	ALT の動き 1. 活動に使う単語を復習する 2. HRTと一緒にジェスチャーを交えてルール説明。 3. 主にゲームを進行する。
---	---

HRT のみの場合

私が単語を言うので、その単語を見つけましょう。 I say a word, you find it in your textbook.
 見つけたら指さしてください。 When you find it, point to it with your finger.
 みんな見つけましたか? Everyone, did you find the word?
 次の単語は～です。 The next word is ~.
 ペアになってやってみましょう。 Make a pair and play together.
 できるだけ早く指さしてみましょう。 Let's do it as fast as you can.

その他

※慣れてきたら

- ①ペアになって、机の真ん中に該当ページを開いた教材を一冊（児童用絵カードを1セット）置く。
指導者の言った単語を聞いて、その絵を先に指すことができた児童は1ポイントをもらう。
数回繰り返し、合計点を競う。
 - ②要領は①と同じだが、絵を指した指は離さずにゲームを続ける。指が離れてしまったらポイントは無効になる。
数回繰り返し、抑えている単語の数を競わせる。
答えがわかっていてもスピードで負けてしまう児童の参加意欲を継続させることができる。
- ※ケガをしないように注意する。

1



ドンじゃんけん

準備物 絵カード等	言語材料 単語全般	所要時間 10~15分
--------------	--------------	----------------

手順

1. 1チーム4~5人のグループに分かれる。
2. 絵カードを机の上に一列に並べて、その両端に1チームずつ一列に並んでおく。(10枚以上は必要)
3. 教師がスタートというと両端から各チーム1人ずつ児童がカードを読みながら進む。
4. 相手チームの児童とあった時点でじゃんけんし、勝った人が先に進める。
負けた人はその時点で進むのをやめ、同じチームの2番目の人が初めからスタートする。
5. 最後の相手の陣地まで進めたチームが勝ち。

HRT の動き

- ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。
- ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。

ALT の動き

1. 活動に使う単語や表現を復習する。
2. HRTと共にモデルを示してルール説明。
3. 主にゲームを進行する。

HRT のみの場合

4人のグループに分かれましょう。 Let's make a group of 4.
 カードの両端に一列で並びましょう。 Let's make a line on both sides.
 私がスタートと言うと、カードを読みながら進みます。
 When I say "Start!", say the word for each card and then go to the next card.
 友達と会った時点でじゃんけんしましょう。 When you meet a friend, do Janken.
 勝てばそのまま進めます。 If you win, you can go forward.
 負けたらストップして、自分のチームに帰りましょう。 If you lose, stop and go back to your group.

その他

※カードの単語を読むだけではなく、慣れてくると単語を見て文を言うようにしてもよい。

例) スポーツの絵を見て "I play ○○." 表情の絵を見て "I'm happy." と言っていくなど。

インタビュービンゴ

準備物 ビンゴシート(下部参照)、筆記用具	言語材料 既習の疑問文とその答え方	所要時間 10~15分
--------------------------	----------------------	----------------

手順

1. どの国に行きたいかを友達に尋ね、友達が答えた国に○を付け、その○をそろえるビンゴである事を確認する。
2. 児童は部屋の中を歩きながらペアを作り、お互いに質問しあう。
3. クラスの友達に質問して、相手が答えた内容に○をつける。
4. あと1つでビンゴの列が揃うとき、児童は“リーチ”という。
5. ○が縦か横か斜めに揃えば、児童は“BINGO”という。

※上記の手順は、Where do you want to go? / I want to go to 国名.を言語材料とした場合です

HRT の動き

- ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。
- ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。

ALT の動き

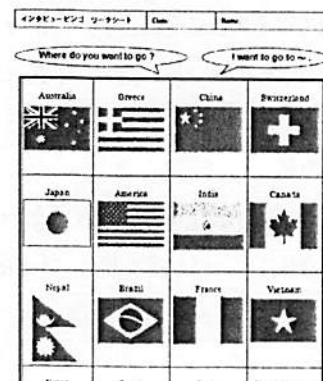
1. 活動に使う表現を復習する。
2. HRTと一緒にジェスチャーを交えてルール説明。
3. 主にゲームを行い、出題する。

HRT のみの場合

ペアを作って、お互いに質問し合ひましょう。 Make a pair. Ask questions. Then make a new pair.
終わったら、ありがとうと言ひましょう。 When you finish, say “Thank you.” to your friend.
ビンゴまであと1つの時は、リーチと言ひましょう。 When you have one more to go, say “リーチ”.
○が一列に揃ったら、ビンゴと言ひましょう。 When you complete a line, say “Bingo”.

その他

※絵や内容を変えてオリジナルのワークシートを作るとよい。



タイフーン

準備物 絵カード 8~10 枚程度、既習表現・語句	言語材料 単語全般	所要時間 10~15 分
------------------------------	--------------	-----------------

手順

1. 教師は黒板に枠(下記参照)を書く。その上側と左側に絵カードを貼っておく。
2. 各マスには点数があるが、児童には見せないように教師があらかじめメモを持っておく。
3. 4~5 人のグループに分かれ、教師は児童にチーム対抗で勝負することを伝える。
4. 初めのチームの代表者は縦・横1つずつの単語を言う。(各チームを順番に当てていく。)
5. 教師は児童が指定した枠の点数を教師が発表する。タイフーンの場合は、教師が「タイフーン!」と言って、そのグループのそれまでの点数を 0 点に変える。
6. 最後に一番点数の高かったグループの勝ち。

HRT の動き ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。 ・HRT と一緒にデモンストレーションをする。	ALT の動き 1. 児童にカードの単語を教え、発音の練習をする 2. HRT と一緒にジェスチャーを交えてルール説明。 3. 主にゲームを進行する。
---	--

HRT のみの場合

4人のグループに分かれましょう。 Let's make a group of 4.
各チーム、(代表者になる)順番を決めましょう。 Decide the order in each group.
このチームの番ですよ。 It's your turn.
どの単語を選びますか。 Which words do you choose?
ポイントは~点です。 This is ~ points.
一番点数が高いのは~のグループです。 The group which gets the most points is ~!
このグループに拍手しましょう! Give this group a big hand!

その他

※点数は 1 点、10 点、50 点、100 点、-20 点等様々に作っておく。

このゲームは教師のさじ加減で点数を変え、活動を盛り上げることができる。

※児童の実態に応じて、単語をある一定の表現に当てはめて言うなど工夫することができる。

例) I like ~, I can ~, Do you like ~? 等

	at 7:30	at 9:50	at noon
get up	10	15	20
go to school	5	タイフーン	25
go to bed	30	35	40

ミッシングゲーム

準備物 絵カード等	言語材料 単語全般	所要時間 10~15分
手順 1. 指導者は教師用絵カードを見せながら児童とその絵の単語を確認し、絵カードを黒板に貼る。 2. 児童に目を閉じさせ、指導者は絵カードの1枚を隠す。 3. 児童は目を開け、どの絵カードがないかを答える。慣れてきたら隠す絵カードの数を増やしたり、黒板に貼ってある絵カードの位置を答えたりする。		
HRT の動き ・児童と一緒に積極的に活動しながら、必要な児童への支援を行う。 ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。	ALT の動き 1. 活動に使う単語を復習する 2. HRTと一緒にジェスチャーを交えてルール説明。 3. 主にゲームを進行する。	
HRT のみの場合 各単語を復習しましょう。 Let's review the words. 目を閉じてください。 Close your eyes. 目を開けましょう。 Open your eyes. どのカードがなくなったでしょう? Which card is missing? 次は2枚隠します。 Next, I will hide two cards. カードの位置も変えます。 I will change the card positions.		
その他		

資料・教材の場所(お問い合わせが多かったもの)

●一般的な資料(学校教育課)

「さがみはらスタンダード」や、基本的な外国語に関する資料については

Eネットさがみ→(ページの下の方のボックス)→学校教育課→外国語教育→小学校 に入っています。

*小学校英語の基本の「き」が集約されている文科省発行「研修ガイドブック」もここにあります。

●CAN-DOリスト

小・中7年間のまとまりで近隣中学のものを参考に各小学校が作る CAN-DO リストですが、相模原市が作成した CAN-DO リスト案(7年間一覧、学年版児童用リスト、学期版児童用リスト)などが教育センターから提供されています。適宜学校に合わせて参考にしたり児童に配ったりしてご使用ください。

Eネットさがみ→(左メニューの)共有キャビネット→教育委員会各課のキャビネット→教育センター〔研究・研修班〕
→外国語CAN-DOリストフォルダ

●インタラクの資料置き場

昨年同様、インタラクのオンライン資料置き場に1年生～6年生のTTの授業案(英語・日本語)が出ています。「コロナ対策版 ペア・グループ活動無し指導案」として、光村から出している指導案に修正を加えたものも出していますので、活動のご参考にしてみてください。

たよれーる どこでもキャビネット

<https://dococab.tayoreru.com/login.html>

User ID : Interac06EJ

Password : 2020rfUqLS9Kw

●動画

*相模原スタンダードでの日本人単独授業デモレッスン動画

→各小学校のコンテンツサーバーに教育委員会から配信されたものが入っています。

アルファベットの単元なので典型的ではない部分もありますが、ご参考にさせていただくことができます。

*相模原スタンダードでのチームティーチング例動画

→アドバイザーにお問い合わせください。

*小文字で遊ぼう動画(休校中にアドバイザー作成で配信したもの。児童配布のDVDには入っていません)

→アドバイザーにお問い合わせください。

*You Tube Mext(文部科学省)チャンネルの授業動画

「外国語教育はこう変わる!」というテーマで Small Talk など色々と参考になる授業動画が追加されています。

*You Tube 大分県教育庁チャンネルの授業動画

「どう教える?小学校英語」シリーズ。

少し英語レベルの高い児童達への授業動画なので、そのまま真似ることはできないかもしれませんが、新学習指導要領の英語指導のイメージがつきやすくなるかと思います。ご参考の一助とされてみてください。

5つの領域別の目標			
	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
聞くこと	<p>ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。</p>	<p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p>	<p>ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p>
読むこと	指導はない	<p>ア <u>活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようになる。</u></p> <p>イ <u>音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。</u></p>	<p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p>
話すこと [やり取り]	<p>ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。</p> <p>イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。</p> <p>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。</p>	<p>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p>
話すこと [発表]	<p>ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。</p> <p>イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。</p>	<p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。</p>
書くこと	指導はない	<p>ア <u>大文字、小文字を活字体で書くことができるようになる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようになる。</u></p> <p>イ <u>自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようになる。</u></p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようになる。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようになる。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようになる。</p>

② 「内容のまとめり（五つの領域）ごとの評価規準」を作成する。

【「内容のまとめり（五つの領域）ごとの評価規準」を作成する際の観点ごとの留意点】

○「知識・技能」の留意点

- ・「知識」と「技能」の二つに分けて記されている。
- ・「知識」については、小学校学習指導要領p.157「2 内容〔第5学年及び第6学年〕」の〔知識及び技能〕における「(1) 英語の特徴やきまりに関する事項」に記されていることを指しており、それらの事項を理解している状況进行评估する。
- ・「技能」について、
 - －「聞くこと」は、実際のコミュニケーションにおいて、「知識」を活用して、自分のことや身近で簡単な事柄などについて話される簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている状況进行评估する。
 - －「読むこと」は、実際のコミュニケーションにおいて、「知識」を活用して、アルファベットの活字体の文字を識別したり、その読み方(文字の名称)を発音したりする技能を身に付けている状況进行评估する。
 - －「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」は、実際のコミュニケーションにおいて、「知識」を活用して、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況进行评估する。
 - － なお、指導する単元で扱う言語材料が提示された状況で、それを使って自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況か否かを評価することにとどまらず、使用する言語材料の提示がない状況においても、既習の言語材料を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況か否かについても評価する。
 - － また、小学校学習指導要領p.157「2 内容〔第5学年及び第6学年〕」の〔知識及び技能〕における「(1) 英語の特徴やきまりに関する事項」に記されている「音声」の特徴を捉えて話すことについては、それ自体を観点別評価の規準とはしないが、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材を活用したり、デジタル教材等を活用したりして適切に指導を行う。
 - －「書くこと」は、実際のコミュニケーションにおいて、「知識」を活用して、アルファベットの大文字・小文字の活字体を書く技能を身に付けている状況进行评估する。

○「思考・判断・表現」の留意点

- ・「聞くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて話されるのを聞いて、その概要を捉えている状況进行评估する。
- ・「読むこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、意味が分かっている状況进行评估する。
- ・「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりし

ている状況进行评估する。

- ・「書くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事項などについて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、書いたりしている状況进行评估する。

○「主体的に学習に取り組む態度」の留意点

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況进行评估する。
- －「聞くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分のことや身近で簡単な事柄などについて話されるのを聞いて、簡単な語句や基本的な表現、具体的な情報を聞き取ったり、その概要を捉えようとしていたりしている状況进行评估する。
- －「読むこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、意味を分かろうとしている状況进行评估する。
- －「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」は、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりしようとしている状況进行评估する。
- －「書くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄などについて、書いたりしようとしている状況进行评估する。
- ・上記の側面と併せて、言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている状況についても、特定の領域・単元だけではなく、年間を通じて評価する。

「読むこと」の場合

○「知識・技能」の評価規準について

<知識>

- ・「【アルファベットの文字の活字体】について理解している。」が基本的な形となる。
- ・【アルファベットの文字の活字体】には、当該単元で扱うアルファベットの文字が入る。

<技能>

- ・「【アルファベットの文字の活字体】を識別したり、その読み方(名称)を発音したりする技能を身に付けている。」が基本的な形となる。

○「思考・判断・表現」の評価規準について

- ・「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について書かれた簡単な語句や基本的な表現を声に出して読んでいる。」が基本的な形となる。
- ・【目的等】には、当該単元を中心となる言語活動において設定するコミュニケーションの目的や場面、状況を、「〇〇に応じて」「〇〇するよう」などの形で当てはめる。その際、学習指導要領の「言語の使用場面の例」や「言語の働きの例」を踏まえて設定する。
- ・【事柄・話題】には、当該単元で扱う題材における話題等が入る。

※小学校外国語科における「領域別の目標」の目標の文末は、「～できるようにする」となっているが、「読むこと」のイのみ、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。」と、文末が「～するようにする」となっていることに留意する必要がある。また、この目標は、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現が書かれているものを見て、音声化することを指している。（その際には、言語外情報を伴って示された簡単な語句や基本的な表現を、児童が文字の音（語の中で用いられている場合の文字が示す音の読み方）を手掛かりに、推測して読むようにする。）

絵カードや記号を伴って示された英文

- ・ 英文のみ ×
- ・ カタカナルビも使って覚えさせる ×

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準について

- ・「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、書かれた簡単な語句や基本的な表現を声に出して読もうとしている。」が基本的な形となる。

※言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的にとらえている状況については、特定の領域・単元だけではなく、年間を通じて評価する。